

で始められ八頭高校に継承されているようです。生徒の代表で、「10年前、先生と他県の方とご縁が今の私たちに繋がっているで全ての方に感謝している」と言っていました。その言葉通り思いの詰まった迫力のあるパフォーマンスを披露していました。

休憩を挟み、研究協議として、広島県から広島県立三次中学校・高等学校がテーマ「親の背中」〜こどもの未来のために、岡山県から山陽女子中学校・高等学校がテーマ「愛と奉仕そして感謝」〜133年をふりかえって、鳥取県から鳥取県立鳥取東高等学校がテーマ「大切にしたい思春期の食生活」〜親から子に伝える生きる力〜の発表が行われました。各発表者の皆さんは、その地域の特徴や学校の歴史などを踏まえてさまざまな活動による親、子、地域・学校、の関係をとても熱心に分かりやすく説明され、たいへん勉強になりました。こういう発表を、今後はその場に行けない人の為にも、動画などで配信できれば、より多くの方々に活動内容が伝わり、PTAに対しての関心や、取り組み方の周知が行われ、子供たちの為にながでできるかを考える良い機会になるのになと思います。そして今後益々進んでいくであろう少子化の波に向かつて、一人一人がなにをするのか、なにができるのかを考え、既成概念にとらわれず、思い切った行動により、より子供たちのためになるようPTAは努力していくべきだろうと考えました。

# 第69回全国高等学校PTA連合会大会 京都大会報告

県高P連副会長(宇部中央高校会長) 金沖真須代

令和元年8月22、23日の2日間、京都市勧業会館みやこめっせ及びロームシアター京都にて、第69回全国高等学校PTA連合会大会京都大会が開催されました。全国より約1万人の会員が集い、山口県からは1つ5名の参加がありました。

当会館は平安神宮隣地で、参道を通り会場入りました。大会1日目の開会前のアトラクションとして出迎えてくれたのは、京都府立工業高等学校吹奏楽部『Mambou Jazz Band』による

ジャズ演奏。華やかさと鮮烈さに胸が高鳴り始めました。

開会式は、永岡佳子文部科学副大臣をはじめ、渡辺博道復興大臣、西脇隆俊府知事、袴姿の門川大作市長と多くのご来賓の方々のご列席の元、開催されました。

今大会テーマは、「Kyôから！未来を拓く」

〜受け継ぎ、創る新たなストーリー〜  
「これまでのPTA活動の財産を継承し、今後のPTA活動の発展向上を期待して、互いに学び語り合い交流する中で、保護者として、大人としての意識を高め行動していきたい。」と実行委員長より

歓迎のあいさつがあり、その後の表彰式では、優良PTA文部科学大臣表彰を下関中等教育学校PTA。全国大会会長表彰(個人)を徳山商工高等学校の長見河村聡子さん、宇部西高等学校の長見敦宏さん、長府高等学校の長岡敏信さん(3名とも前県連副会長)が受賞され、同(団体)を徳山商工高等学校PTA、宇部中央高等学校PTAが受賞。さらに、役員表彰者に、全国理事及び中国四国地区会長として長年兼任された、板谷正顧問が受賞されました。受賞さ

れた個人、団体のみなさんおめでとうございませう。

引き続き6会場で分科会が開催されました。「よ



くできるかどうか?」、「子供たちの進路選択にどう向き合う?」が各会場でテーマに掲げられ、新ガイドラインに沿った形式(参加型の研修会)で行われました。

私は第1分科会の「よくできるとはどういうことか?」に参加しました。講師は歌人で物理学者である和田宏氏。基調講演では、「現状の教育は、試験の成績が良い(早く正解に辿り着き答えられる)、偏差値が良い(いい大学に行ける)、理解力が高い(豊富な知識を持ちそれを応用出来る)、もっと言うと、小中高校までは正解は必ず1つであり、暗記した正解を答えられるのがよくできることになってしまっている。」

「私は、湯川秀樹に憧れて京都大学へ進学した。入学式で奥田東先生(当時の総長)から『京都大学は、特に何も教えません』と言われた事を振り返り、



大学は、学習から学問へ。文字通り、学んで問う最後の教育の場である。社会へ出たら、誰も正解を知らない。そもそも正解があるかどうか分からない。答えのない問題や想定外に自分がどうアプローチするかが学ぶ意味。教えられたことは果たして正しいのかと疑ってみる。」と述べられたことが、印象に残りました。

最後は、歌人らしく短歌を用いて、当たり前を問い直すことの難しさについて、考えさせて頂きました。

1日目を終え、都ホテル京都八条にて山口県教育懇談会が行われました。88名の参加があり他校の会長さんや役員さん先生方との交流を深めました。

大会2日目の開始前アトラクションでは、京都市立塔南高等学校吹奏楽部『塔南マーチングバンド・ザ・グリフォリンズ』による演奏に続き、平安時代の貴族を連想させる衣装をまとった京都府立鳥羽高等学校披露研究部が和歌を節をつけて詠み上げる披露を披露し、京都らしさを醸し出しました。

メインの記念講演は、日本電産(株)CEOの永守信重氏による「学校教育・家庭教育に思うこと」と題してのお話でした。

永守氏は「18歳でどの大学に入るかで人生が決まってしまうかのような価値観はすでに通用しなくなっているにも関わらず、未だにブランド主義、偏差値重視の進路選択から抜け出せていない。一流大学に進学し、一流企業へ就職したとしても、明るい未来が保証される時代ではない。大学に合格するテクニックを身に

付けるより、夢を語り、その実現のために行動できる人材を育てるべきだ。」

「保護者に向けて」親は自分の子どもが何が好きで、何をやりたいかをちゃんと掴む。きちつと方向を定めるためには、子どもの話をしっかり聞き、優しく見守り、信じていることが肝心で、子どもと共に成長していくことが大切だ。」と主張されました。

さらに、大学教育の変革を訴えられた75歳の永守氏の座右の銘は「情熱・熱意・執念」。何歳になっても理想を掲げ、夢を実現させる強い意志と行動力が若さの秘訣だそうです。最近の講演会で

は珍しく、パワーポイントを活用しない講演で、年齢を感じさせない情熱あふれる永守氏の魅力に参加者は引き付けられ、『世界No.1の総合モーターメーカー』に成長させた創業者が語る説得力に感銘を受けました。

今回は、歴史の大きな節目、「令和」の開幕にふさわしい大会で、とても有意義な2日間でした。参加されたみなさん大変お疲れ様でした。この大会で得た様々な情報や感動を共有し、山口県高P連活動、地域活動に活かしていきたいと思えます。皆様、今後ともどうぞよろしくお願ひします。

## 祝 表 彰

第69回全国大会（京都大会）で次の団体・個人が表彰されました。

おめでとうございます。

◇全国高等学校P T A連合会会長表彰  
(団体の部)

山口県立徳山商工高等学校 P T A

山口県立宇部中央高等学校 P T A

(個人の部)

河村 聡子 氏 (山口県公立高等学校 P T A 連合会前副会長)

長見 敦宏 氏 (山口県公立高等学校 P T A 連合会前副会長)

長岡 敏信 氏 (山口県公立高等学校 P T A 連合会前副会長)

◇役員等表彰

板谷 正 氏 (山口県公立高等学校 P T A 連合会前会長)

◇優良 P T A 文部科学大臣表彰

山口県立下関中等教育学校 P T A

## 令和2年度 主要行事予定

月	日	行 事
5	29(金)	第1回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
6	5 (金)	山口県高P連総会 (セントコア山口)
7	10(金)	第62回中国・四国地区高P連大会広島大会 (広島市)
	27(月)	第2回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
8	20(木)~21(金)	第70回全国高等学校PTA連合会大会島根大会 (松江市他)
9	4 (金)	第3回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)
R3.2	12(金)	第4回常任委員会 (やまぐちリフレッシュパーク)